

# 混在ネットワーク環境における合意形成支援システム ～ 健常者・障害者の知的協調活動への適応と発展可能性の検討～

福島大学 理工学群 共生システム理工学類  
中村 勝一

## ■ 背景

- 【合意形成】 ネットワーク上における知的活動の効果的遂行のために不可欠
- 【ネットワーク環境の多様化】 通信速度向上, モバイル環境の充実, 情報端末の変化
- 【支援ニーズの高まり】 ユビキタス性の充実, 多忙ユーザ・身体障害者など支援範囲の拡大

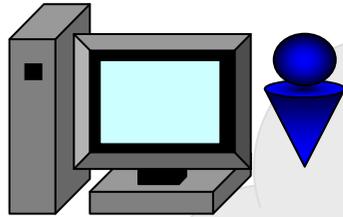
## ■ 研究の概要と目的

- 【目的】 合意形成の質の低下をまねくことなく, その実現性を向上させるための支援手法
- 【概要】
  - 合意形成に関する意思情報のソフトウェアエージェントによる代行生成・回答支援
  - ネットワーク環境など制約の異なるユーザが混在する状況に対応可能な枠組み提供
- 【成果】 これまでにプロトタイプシステムを実装し, 枠組みを実現・評価実験により基本的な有効性を確認している.
- 【本年度の取り組み】 多忙ユーザ・視覚障害者まで支援対象を拡大・必要な支援手法の開発
- 【従来手法と本研究の違い】
  - 従来手法 Webベース, 携帯端末用など特定の環境・制約のみに対応  
支援対象の限定, 合意形成の実現性・品質の低下
  - 本研究で提案する手法  
ネットワーク環境の差異, 多忙等ユーザ状況, ユーザの身体的障害など様々な要素に起因する問題を, 全て一種の制約として捉え, 共通の枠組みの中で支援

合意形成の実現性向上, 品質低下防止 & 健常者・身体障害者の知的協調・共働環境実現に寄与

### 非モバイル環境

- ・PC/高速ネットワーク
- ・詳細な情報入力が可能

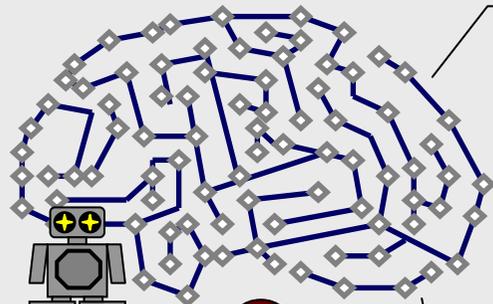


### モバイル環境

- ・モバイル端末/低速ネットワーク
- ・詳細な情報入力は困難

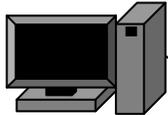


Internet



・合意形成に関する意思情報の一部を代行生成・回答

### 非ネットワーク環境 / 操作不可能時

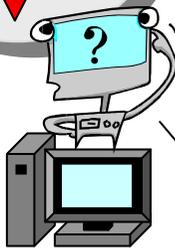
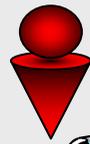


- ・ネットワーク環境がない
- ・情報入力が不可能な状態

・意思情報の代行生成・回答

### 身体障害者

- ・専門的作業環境は存在。
- ・合意形成に関する状況理解、回答作業が困難



・意思情報の一部を代行生成・回答

・状況理解補助 ・回答作業補助

ユーザ間の制約差異を吸収(ネットワーク環境の違い、多忙者、身体障害者)  
 ↓  
 合意形成の実現性/品質の向上  
 ↓  
 ネットワーク上でも出来る から ネットワーク上だから出来る への発展に貢献